

# 日仏文化学院 パリ日本人学校

令和7年度学校だより 第11号 令和8年1月30日発行 パリ日本人学校 堀内正樹

## 違いをエネルギーに

三学期は一年のまとめであり、次の学年への助走でもあります。だからこそ、私たちがどんな姿勢で一年を歩んでいくのかを考えたいと思います。

昨年、皆さんは多くの場面で成長を見せてくれました。行事や学習の中で、友達と意見が合わないこともあった中で、仲間と協力して大きな成果を生み出したり、誰かの言葉に励まされたりして成長してきました。そうした経験を振り返ると、ある共通点が見えてきます。それは、皆さんが成長した場面には、必ず「違い」があったということです。

- ・友達との考え方の違い。・得意・不得意の違い。
- ・自分の思いと現実の違い。・成功と失敗の違い。

そして、自分と周りの人との違い。

“違い”は、ときに戸惑いや不安を生みます。

けれど、皆さんはそのたびに、話し合い、挑戦し、立ち止まり、また前に進んできました。違いに出会うたびに、皆さんは少しずつ強く、優しく、そして柔軟になってきたのです。

新しい年は、そんな皆さんの成長をさらに深めるチャンスです。

そこで、私は今年のテーマをこう決めました。

——「違いをエネルギーにしよう」——

違いを避けるのではなく、ぶつかるのでもなく、

違いをきっかけに自分が動き出す。

違いをヒントに新しい考えを生み出す。

違いを力に変えて、よりよい学校をつくっていく。  
例えば、意見が合わないとき。

「なんでわかってくれないんだ」と思う前に、

「この違いから何が生まれるだろう」と考えてみる。  
苦手なことに向き合うとき。

「できないからやめよう」ではなく、

「この違いが自分をどう成長させてくれるだろう」と捉えてみる。

誰かの行動が気になったとき。

「自分と違うから嫌だ」ではなく、

「違うからこそ学べることもある」と視点を変える。

そうした小さな一歩が、学校全体の空気を変えていきます。皆さん一人ひとりの違いが、この学校の可能性を広げます。

そして、皆さんが互いの違いをエネルギーに変えられるとき、この学校はさらに温かく、もっと強く、もっと面白い場所になっていくことでしょう。



## 三学期の目標

### 【わたしの3がっき】

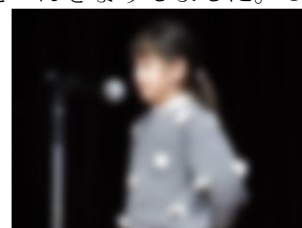
1ねん1くみ Y.R

わたしは、2025ねんの4月にパリ日本人学校に入学しました。

そのとき、わたしは、エジプトから、はじめてフランスにきて、しらないことが多かったです。

パリ日本人学校にかよったら、すこしずつフランスになれてきました。1がっきで、あたらしいともだちにであったり、フランスのべんきょうもしたりしました。

2がっきは、たのしいぎょうじもいっぱいでした。だけどわたしは、ときどきわすれものをしていたので、3学きはそこをなおしたいです。2学きに、かんじとむずかしいけいさんをべんきょうしました。3学きでは、まえよりもっとむずかしいかんじとけいさんがでるとおもいます。あきらめずにがんばりたいです。



### 【三学期に向けて】

3年1組 TM

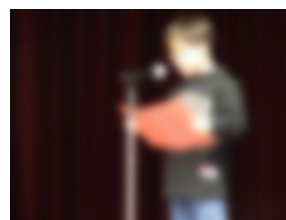
私が三学期で頑張りたいことは三つあります。

一つ目は学習です。私は算数の小数が苦手です。小数点の書き忘れなどのミスをなくして、なるべく短時間で計算ができるようにしたいと思います。

二つ目は持久走です。二学期の体育の授業で持久走をしたときに、二周目でつらくなってしまいました。もっと体力をつけたいと思いました。普段から走って遊ぶ機会を増やしたいです。

三つ目は音楽です。三年生で初めてリコーダーの吹き方を学びました。最初は簡単だと思っていましたが、低いドとレは指をたくさん押さえないといけなくて、難しくてファの音を出すことができません。冬休みに家でもたくさん練習したいと思います。

三学期になったら今よりも勉強が難しくなるので、分からないことをそのままにしないで、今よりも勉強にはげみたいです。そして、下級生にも優しくしてまわりから頼られる四年生になりたいです。



## 【三学期始業式 学年代表の言葉】

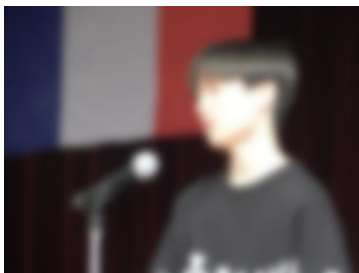
### 2年1組 S.H

皆さんは自分の成長を感じたことはありますか？僕はあります。パリ日祭の演技練習をしていると、以前までできなかった苦手な場면을克服することができていたり、期末テストで以前よりもよい点数がとれていたり。そういった経験は皆さんもあると思います。しかし、時には努力したのにうまく行かなかったことがありますよね。「努力は必ず報われる」という名言があります。努力をし続けたら、いずれ成功する。そんな意味が込められています。しかし先ほど言った通り、報われないこともあります。それじゃあその名言は筋が通ってないじゃないかと思いませんか。その通りです。この名言、おかしいんです。僕は二学期の間、これを信じ続けてきました。しかし、一向に努力は報われない。

僕は去年から人に対して平等に優しく接することを努力したり、サッカーのトレーニングをしてテクニックの向上をめざしていました。しかし、自分は接し方をあまり変えられず、サッカーに関してはテクニックの向上は感じられず、二学期の間、成長できない自分にとっても苦しめられました。もうなにもしたくない。そう感じる時もありました。ならなぜ、努力が報われなかったのか。そう考えるようになりました。

今までの自分を振り返っていると、努力の仕方や質が良くなかったことに気づいたのです。人に優しく平等に接するというには口でしか言えず、行動に移しきれていないことに気がつき、サッカーに関してはトレーニングのやり方が良くないことに気がつきました。ですので先ほど言った筋が通っていないという発言には矛盾が生じてしまいましたが、あの名言はおかしいわけではないんです。努力は量ではなく質。そんなことに僕は二学期に気がつきました。

三学期には二学期に気づいた努力のことを活かして生活したいです。三学期はテストの点数の向上、さまざまなことに関しての対応力や運動神経の向上に力をいれていこうと思います。努力は必ず報われる。その努力をどうやっていくか。これを大切に過ごしたいです。たくさんやればいいというわけではなく、一つ一つの積み重ねに丁寧さをもって努力をする。皆さんも僕と一緒に三学期頑張ってください。



## R7 学校評価の結果報告

令和7年度の学校評価につきまして、保護者の皆様にご報告申し上げます。本年度は、従来の保護者アンケートの項目を基に、児童生徒にも同様の内容でアンケートを実施し、令和6年度との経年変化もあわせて分析いたしました。資料を掲載いたしますので合わせてご覧ください。

まず、保護者アンケートでは、全体として各項目の約7割が「3」以上の評価となり、特に学力育成については7割以上の方から高い評価をいただきました。一方で、中学部においては約1割の方から「1」の評価が寄せられ、高校受験を見据えた学力向上への期待が大きいことがうかがえます。また、グローバル人材育成の一環としての外国語会話については改善を求めるご意見が多く、数値にもその傾向が表れていました。さらに、教員の指導力向上に関しても、十分な満足を得られていないという声をいただいております。

児童生徒アンケートでは、自己評価形式で行ったところ、小学部・中学部ともに「4」の評価が5割以上、「3」以上が約8割に達し、子どもたちが自らの学びに対して前向きな気持ちを持っていることが確認できました。小学部では、失敗を恐れず挑戦する姿勢や体力向上に関する自信をさらに育てていく必要が見られましたが、中学部では学校生活全般において「3」以上の評価が100%となり、のびのびと学校生活を送っている様子がうかがえます。

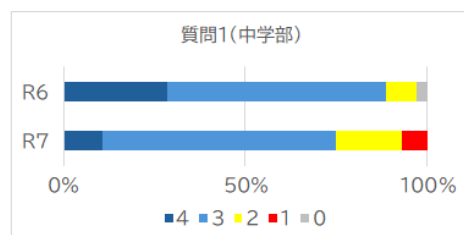
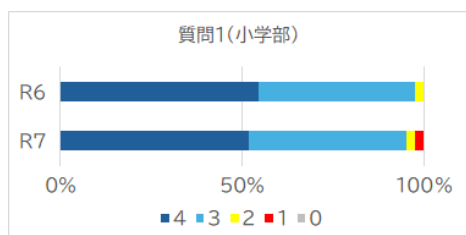
また、話し合い活動や宿泊行事など、知識習得以外の学びについても高い自己評価が得られました。総合的に見ると、保護者アンケートでは7割以上、児童生徒アンケートでは8割が「3」以上の評価となり、子どもたちが学校を楽しい場所として捉えていることがわかりました。一方で、保護者の皆さまからは教員の授業力向上に対する多くのご期待をいただいております。これらの声を真摯に受け止め、令和8年度に向けて具体的な改善策を講じてまいります。

今後は、保護者・児童生徒ともに「4」評価50%、「3」以上80%を目標として取り組んでまいります。また、自由記述欄に寄せられた貴重なご意見につきましても、来年度の教育課程に反映できるよう検討を進めてまいります。

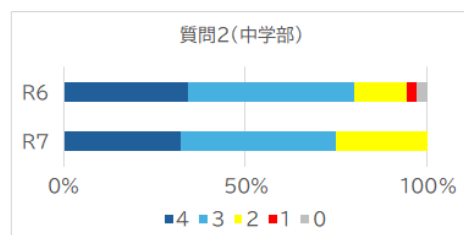
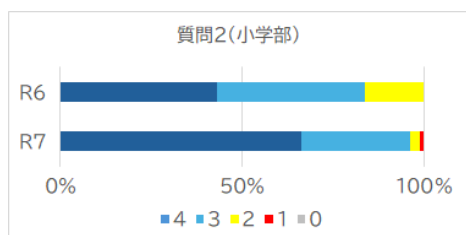
アンケートにご協力いただきました保護者の皆さまに、心より感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 学校評価(保護者アンケート)

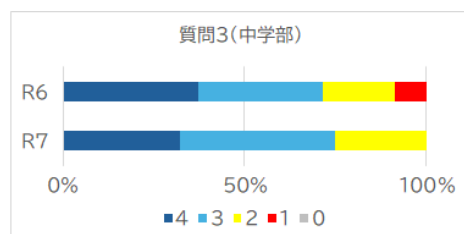
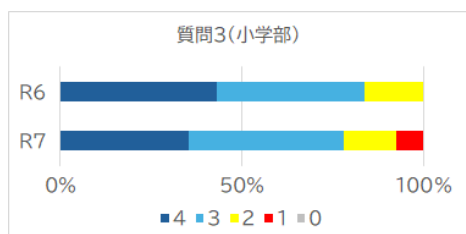
質問1 学校は確かな学力の育成を行っている。



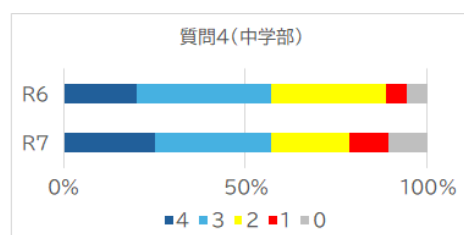
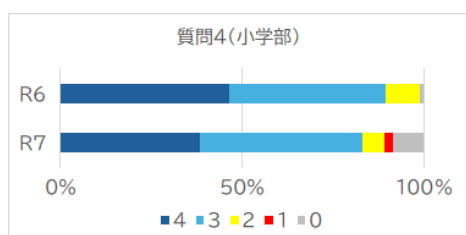
質問2 学校は豊かな心、たくましい体の育成を行っている。



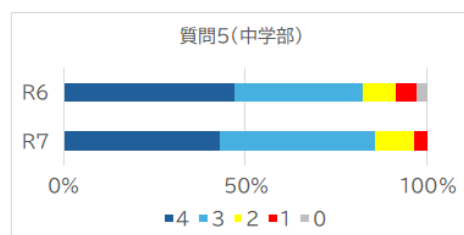
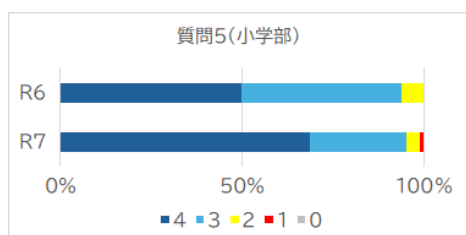
質問3 学校はグローバル人材を育成する教育の推進を行っている。



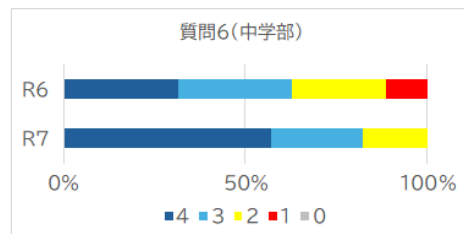
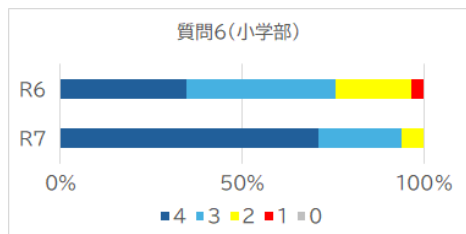
質問4 学校は個に応じた指導や支援を行っている。



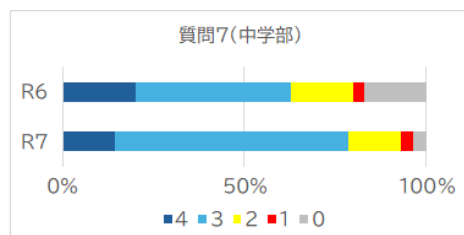
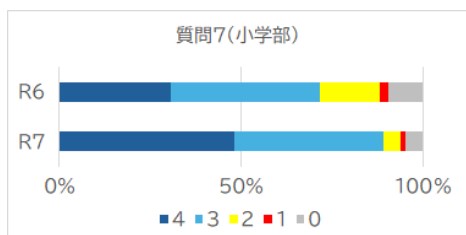
質問5 学校は児童生徒の安全のための危機管理を行っている。



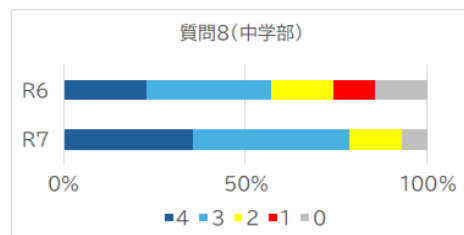
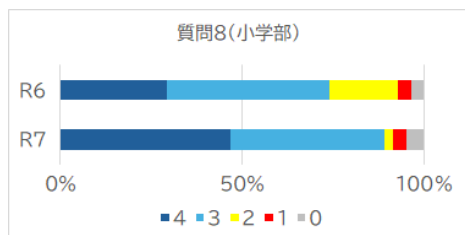
質問6 学校は施設設備の充実と活用を図っている。



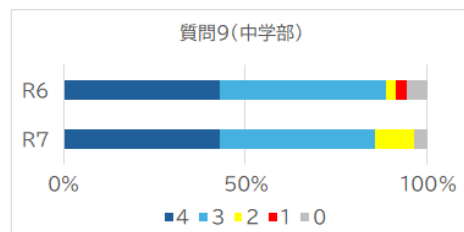
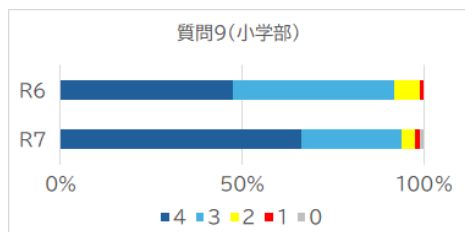
質問7 学校は教師の指導力向上を図っている。



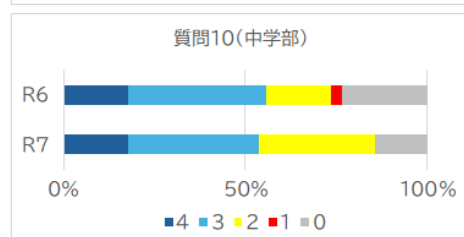
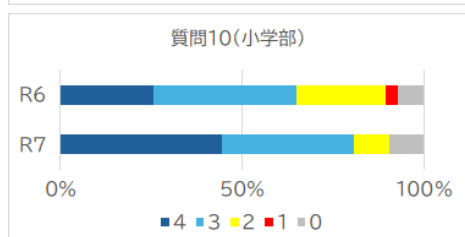
質問8 学校は効率的な校務運営を行っている。



質問9 学校は開かれた学校づくりを行っている。

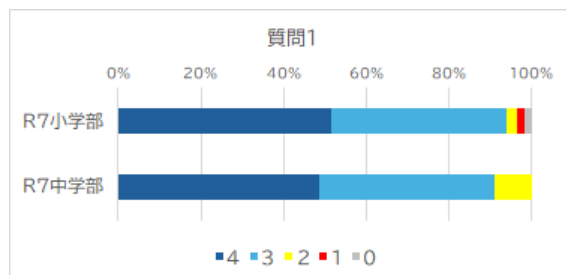


質問10 学校は財政運営の効率化と安定化に努めている。

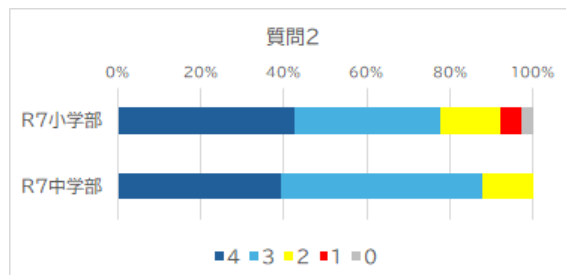


## 学校評価(児童・生徒アンケート)

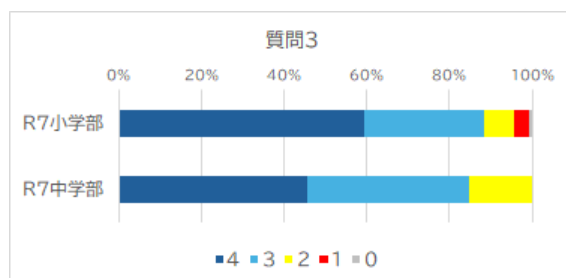
質問1 私は、授業に積極的に取り組み、自分から進んで学ぼうとしています。



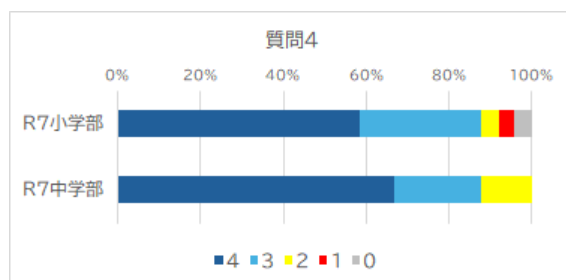
質問2 私は、失敗を恐れず何事にも取り組もうとしています。



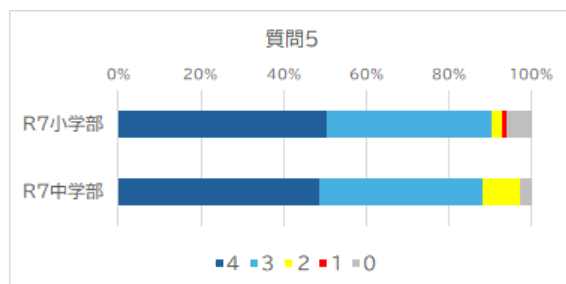
質問3 私は、体調管理に心がけ、体を動かす活動に積極的に取り組んでいます。



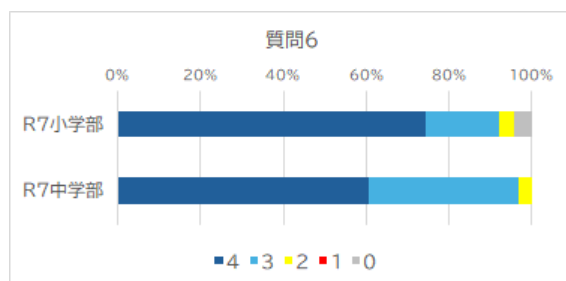
質問 4 私は、最後まであきらめずに取り組むことができます。



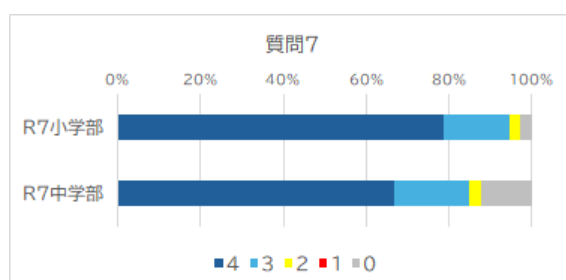
質問 5 私は、人の気持ちや立場を考えて行動することができます。



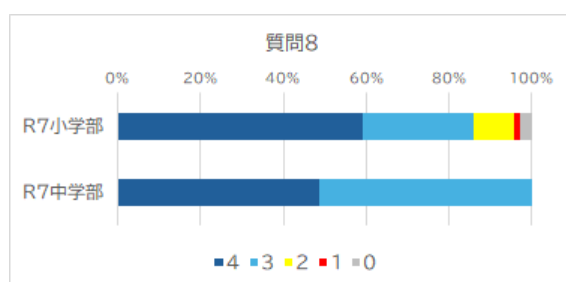
質問 6 私は、友達との話し合いを大切にし、協力して活動することができます。



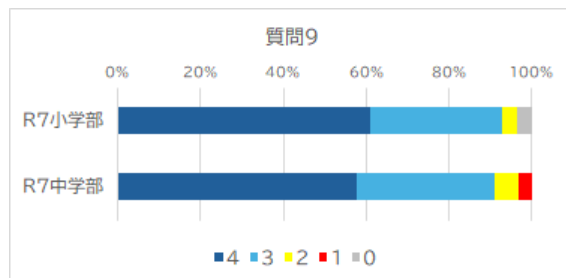
質問 7 私は、宿泊学習からたくさん学びを得ている。



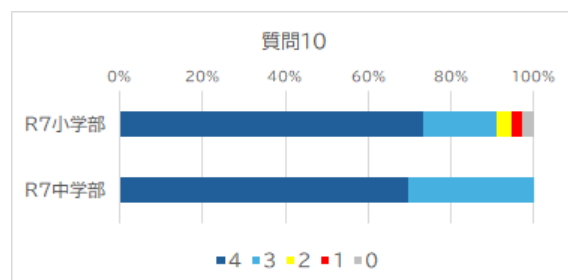
質問 8 私は、語学の授業や交流活動などに積極的に取り組むことで、多様な文化を理解する意識が高まりました。



質問 9 私は、授業で、自分に合った課題に自分のペースで取り組むことができます。



質問 10 私は、学校で安心してのびのびと過ごすことができます。



質問 11 先生たちは、わかりやすく楽しい授業をしてくれます。

